



今回は、本年度の具体的な取組③④について本年度の取組と学校運営協議会委員の皆さんのコメントを紹介します。

本年度の具体的な取組

- ③ 基本的生活習慣が身に付くように「きらきらカード」の活用や指導を行う。
- ④ 友達や異年齢児と関わり、互いの思いに気付くような「ピア・サポート」の実践を行う。

1年間「きらきらカード」に親子で取り組んでいただき、ありがとうございました。その時期に身に付けてほしいと願うことを提案してきました。健康で幼稚園に通うための習慣（外から帰ったら手洗いとうがいをする、〇時までには寝る、朝ご飯を食べるなど）、自分の身の回りのことを自分ですること（自分で服を脱いだり着たりする、ハンカチとティッシュを自分で入れるなど）ができるようになっていきますか。その期間だけでなく、取り組むことでそれ以降もその習慣や力が続くことを願っています。

【学校運営協議会委員から】幼児は時計が読めないの、「〇時〇分までに～をする」という目標設定が難しいのではないかと。どの内容も家庭で親が頑張らなければならないことだと感じる。



【学校運営協議会委員から】相手の表情を見て気持ちに気付くことは難しいと思うが、同年齢の集団の中でできるようになってほしいと考える。鈍感力ではなく、相手の気持ちに気付く力を育ててほしい。



三学期には、ほし組とはな組がペアになってする活動を取り入れています。来年度に向けて互いをもっと知って仲良くなってほしいです。今月からは遊戯室で一緒に給食を食べています。4月から新しいはな組もいます。大きい組のみなさん、よろしくね。

4・5月、そら組ははな組がカッパを着るときに手伝いに行きました。次第に、毎日の生活の中で相手の様子を見て対応する姿や頼る姿が見られるようになりました。

ピア・サポートとは、仲間とのつながりを強くする取組です。相手の表情から気持ちを想像したり頼ったり助け合ったりしながら成長してほしいと願っています。

きりとりせん

読まれた感想・ご意見などありましたら教えてください。園長だより 12 () 組 園児名 ()